

帯電防止
塗料

ノンスタテックスXP II

静電気問題や防塵対策を解決する高機能性塗料

静電気が原因で放電が起こると、溶剤や粉体を扱う工場では爆発や火災を引き起こしたり、電子部品等を扱う工場では不良品の発生につながります。床面に帯電防止塗料ノンスタテックスXP IIを塗布することで、これらの静電気トラブルを未然に防ぐことができます。

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03195
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.toryo.or.jp

ノンスタテックスXP IIの用途

・静電気対策が必要なクリーンルーム・クリーンゾーン・工場・倉庫・施設

電子部品・
デバイス・
電子回路製造工場

化学工業工場

印刷・
紙加工工場

繊維工業工場

その他製造業工場

ノンスタテックスXP IIの特長

- 1) 下地に影響されず、安定した導電性を発現し静電気を除去します。
- 2) 導電性プライマーの工程を削減した事により、工期短縮を実現しました。
- 3) 静電気除去が可能なので、一般的な防塵塗料よりワンランク上の防塵対策ができます。
- 4) エポキシ樹脂をベースにした薄膜タイプの塗料です。薄膜ながら、耐摩耗性や耐薬品性等、優れた耐久性を発揮します。

ノンスタテックスXP IIの製品詳細

荷 姿

ノンスタテックスXP II : 16kg[主剤12kg:硬化剤4kg]
ノンスタテックスXP II フィラー : 2kg

塗り面積

約 50m²

※下地に応じたプライマーの塗装が必要になります。

2時間 (23℃)

5時間 (23℃) (歩行開放16時間)

受注生産色 (7色)



グリーン



ライムグリーン



アメリカングレー



アイボリー



ベージュ



ノンスタブルー



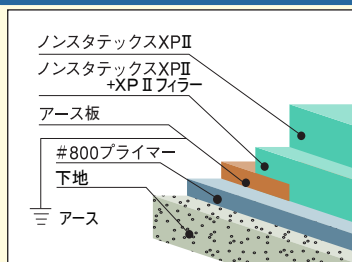
ノンスタブラウン

※他のフロアトップとは色が異なります。事前にご確認ください。

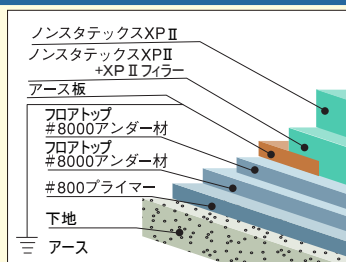
※鮮やかな色は調色できませんのでご注意ください。

※印刷のため、実際の色とは異なることがあります。

ノンスタテックスXP IIの施工仕様例



ノンスタテックスXP II コーティング工法



ノンスタテックスXP II 流しのベーパーティング工法

※施工についての詳細は、施工仕様書をご参照ください。

下地別の適用プライマーと適用旧塗膜

適用プライマー		適用旧塗膜 (サンディング後直塗り可能)
コンクリート	油 面	フロアトップ#8000
#800プライマー	#500油面プライマー	フロアトップ#8500
#800TYプライマー	湿潤面	フロアトップ#8500速乾
エコワイドプライマー	ウェットガードプライマー	エポワン
強化コンクリート	タイル	ノンスタテックスP
強化コンクリートプライマー	タイル用プライマー	ノンスタテックスXP II

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 ☎(03)3969-3125

FAX.(03)3968-7300

ノンスタテックスXPⅡの電気抵抗値

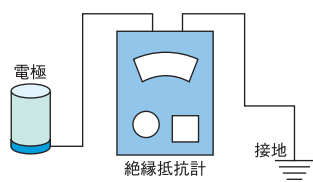
ノンスタテックスXPⅡを塗装した面の漏洩抵抗値は $10^5 \sim 10^8 \Omega$ で静電気トラブルを防止するのに最適な範囲で、気温・湿度の影響を受けず安定した導電性を約束します。

【各規格の測定条件における床面の抵抗値】

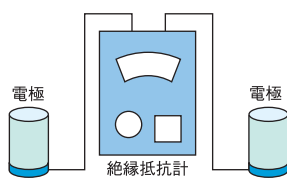
規格名称	ノンスタテックスXPⅡ 測定値	備 考
静電気安全指針 1978	$10^5 \sim 10^8 \Omega$	漏洩抵抗値
静電気安全指針 1988	$10^5 \sim 10^8 \Omega$	漏洩抵抗値
静電気安全指針 2007	$10^5 \sim 10^8 \Omega$	漏洩抵抗値
IEC 61340-4-1	$10^5 \sim 10^8 \Omega$	漏洩抵抗値
ANSI/NFPA99	$10^5 \sim 10^8 \Omega$	表面抵抗値
JIS L 1021 16 B法	0.1kV未満	ストロール法
JIS A 1455	最大帯電電位: 54 ~ 57V U値: 3.7	グレードⅡ

※詳細は各規格をご参照ください。

【漏洩抵抗値測定方法】

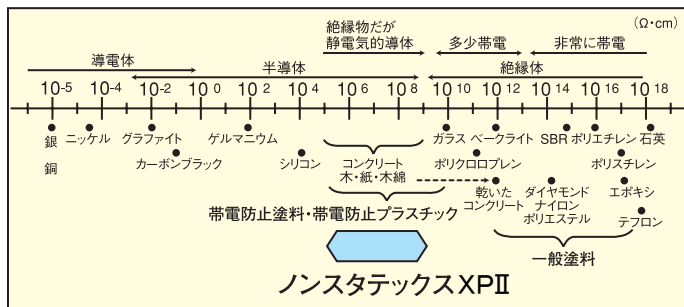


【表面抵抗値測定方法】



※TERA OHM METER ミドリ安全(株)を使用の場合

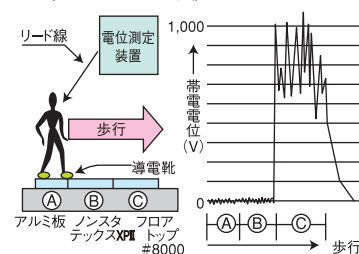
■ 各物質の体積固有抵抗 ($\Omega \cdot \text{cm}$)



■ 人体の帯電防止

● 人体の歩行帯電試験 (JIS L 1021 16 B法)

人が歩行や、運動をした場合、衣服の摩擦や床と靴の摩擦等で生じた静電気が人体に帯電します。この帯電電位が高いまま作業を行うと、電撃を受けたり、静電誘導現象による電子部品の静電破壊の原因になります。ノンスタテックスXPⅡは、人体の帯電を塗膜を通して速やかに逃がします。(導電靴の使用が必要です)



注意事項

1. 塗装 (施工) 前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温または低温時は、作業環境を整えてから施工してください。
- (3) 下地調整は塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等を良くお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装 (施工) 中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- (3) 塗装中は、換気を良くしてください。
- (4) 二液性塗料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使用時間 (ポットライフ) にも充分注意して塗装してください。
- (5) 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後にはかりを使用して計量、混合してください。

3. 塗装 (施工) 後の注意

- (1) 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 養生時間 歩行開放=16時間 重量物開放=48時間 (気温23℃・湿度50%)
- (3) 塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
- (4) 残った塗料は、蓋を完全にし、直射日光や-5℃以下の場所を避けて保存してください。

4. 塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に素地にポリシート (1m以上) を張り付け、翌日、素地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安にする)
- (2) 風化したコンクリート、雨に打たれたり凍結により強度のないコンクリートの場合はご相談ください。

5. アース設置に関しましては、事前に当社までお問い合わせください。

6. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS (安全データシート) をよくお読みください。
- (2) 使用中、使用後ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社までお問い合わせください。